

## 京都のバス事業を考える会 答申 概要

規制緩和実施下において市内のバス輸送の大部分を担う市バスと他の交通事業者が協力して、市民の足を守り、より利便性の高い公共交通網を目指すための方策について協議してきた「京都のバス事業を考える会」から、本日、答申が提出された。

概要については、次のとおりである。

### 生活支援路線のより効率的・効果的な確保策について

#### 1 生活支援路線の現状と課題

生活支援路線は平成15年度で37系統あり、利用状況等を分析したところ、終日あるいは早朝・夜間のご利用が少なく、大型バスに替えて低コストの代替手段である小型バスや乗合タクシーでの代替輸送が可能な系統がある。

#### 2 生活支援路線のより効率的・効果的な確保策

##### (1) 効率化策

小型バス、乗合タクシーへの代替や、引き続き大型・中型バス車両での運行が必要なものについては、時間帯による経路変更や系統の統合などを行う。

##### (2) 利便性向上策

鉄道駅との結節や運行回数の増便などで旅客増を図る。

##### (3) 代替運行の効果

小型バスでは大型バスの8パーセント程度の経費削減が可能であり、乗合タクシーでは、1台当たり、バス運行の民営並みコストの2分の1程度での運行が可能との試算であった。また、小型車両であることから、狭い道路での運行が可能となり、運行経路の自由度が高まり、利便性向上が可能である。

##### (4) 小型バスや乗合タクシー代替の場合におけるサービス確保

現行の市バスのサービス水準を確保することが必要である。

また、車両を小型のものに置き換えることに伴い、サービスの向上を図るため、運行経路、ダイヤ、運賃などの考え方を整理した。

#### 3 生活支援路線の確保策のモデル実施

確保策の具体化に向けて、コスト削減効果や旅客増効果の検証を行う必要があり、実証実験するため、具体的に4つのケースをモデルとする案を策定した。

なお、( )内の系統はモデル実証実験の候補となる系統である。

小型バスにより終日代替運行するもの(16号, 南8号)

乗合タクシーにより終日代替運行するもの(84号, 臨南5号)

乗合タクシーにより早朝・夜間代替運行するもの(42号, 43号)

小型バス又は乗合タクシーにより早朝・夜間一部区間を代替運行するもの(31号, 65号)

なお、モデル実証実験の実施にあたっては、民間交通事業者の創意工夫を活かすことが求められる。

## 「安全・安心・快適な市バスサービスのあり方について」

更なる市バスのサービス向上のため、「継続して取り組むもの」と「新規に取り組むもの」という視点を基本とし、検討していくべき項目の方向性を示した。

### 1 路線・ダイヤの改善

- (1) 系統の見直し（わかりやすい系統への抜本的再編成など）
- (2) ダイヤの適正化（等間隔ダイヤや毎時同時刻発ダイヤの拡大など）

### 2 市バスの走行環境の改善による定時性の確保

- (1) 京都府警との連携強化（公共車両優先システム PTPS の拡大）
- (2) バス専用レーン確保のための全市的取組（啓発キャンペーン等の重点モデル事業の実施）
- (3) バスカメラによるバス専用レーン駐車車両への警告及び取締りの徹底

### 3 バリアフリー・情報発信・環境対策

- (1) ノンステップバスの導入拡大
- (2) 携帯電話への情報発信（ポケロケ二次元コードの全停留所への普及）
- (3) 観光系統「洛バス」の運行
- (4) 低公害バス・バイオディーゼル燃料バスなど環境対策の推進
- (5) 体系的な情報提供によるわかりやすさの向上（複数事業者の時刻表・路線図のデザインの統一や統合、主要交差点における停留所位置案内の充実など）

### 4 運賃制度の改善

- (1) 定期券制度の改善（各種定期券について全線利用化の検討）
- (2) ICカードの導入
- (3) 乗車券の磁気カード化の推進（乗継利便性に配慮した乗車券の磁気券化）
- (4) 乗継運賃のあり方の検討（長距離系統の分割に伴う無料乗継の実施など）
- (5) 買い物ポイント乗車券（ICカードによる買い物額に応じたポイント制の導入検討）

### 5 安全運行・接遇向上への取組

- (1) 利用者意見の反映（電子メールの活用など）
- (2) 研修の充実（お客様対応に重点をおいた研修の強化）
- (3) バス停・バス車内における案内の充実（乗換案内や周辺観光地案内などの充実）

### 6 民営バス等との連携

- (1) 案内の連携（複数事業者の時刻表・路線図のデザインの統一や統合など）
- (2) 運賃の連携（企画乗車券の活用，ICカードの導入）

### 7 市民理解を得るためのPRの取組

- (1) 市バスに関する系統やバス停位置などの基本情報の効果的なPR
- (2) 親しまれる交通機関とするためのイベントの開催など